

梨病害虫発生状況調査速報

NOSAI ひょうご 豊岡事務所
豊岡農業改良普及センター
JAたじま豊岡営農生活センター

調査日：令和4年5月20日（金）

1 調査項目

表-1

調査項目	黒斑病	黒星病	赤星病	サビダニ類	ハダニ類	アブラムシ	果実径
調査標本数	100葉	100葉	100葉	新梢100本	20葉	新梢100本	20果

2 調査結果

(1) 黒斑病（調査結果 0%）

黒斑病に罹病した葉は、見当たりませんでした。今後の気温上昇により、菌の飛散量が増加することが予想されます。発生があった園地では、発生に注意し、防除を徹底しましょう。

(2) 黒星病（調査結果 0%）、赤星病（調査結果 1～2%）

黒星病に罹患した葉は見当たりませんでした。赤星病に罹病した葉は若干ありました。様々な品種が混在している園地においては、赤星病の発生に注意してください。

(3) ニセナシサビダニ（調査結果：1%）

ニセナシサビダニが、若干いました。新梢の発育抑制につながる重要害虫です。5月上旬は低密度ですが、このあと6月上旬には、増殖します。そのため防除は、この時期がポイントです。

（ニセナシサビダニの特徴と防除）

①体長は、0.2mm程度しかないため、肉眼で見ることはできません。

②防除適期は、5月上旬の低密度期と6月上旬の増殖時期です。

③徒長枝の先端付近の葉や枝に多く寄生するため、そこを狙って防除してください。

(4) ハダニ類（調査結果 0匹）

ハダニ類は、見当たりませんでした。ハダニ類の特徴として、高温・乾燥条件で多発する傾向があります。今後は、気温が上昇し、発生量も増えます。6月の中旬までに、ニセナシサビダニと一緒に防除しましょう。この時期の発生抑制が、今年の発生量を大きく左右します。一枚の葉に2匹以上見かけるようになったら、すぐに防除しましょう。

(5) アブラムシ類（調査結果 1%）

アブラムシ類の発生が若干見られました。吸汁により葉を巻き込むと、防除効果が低下するため、発見しましたら早期防除を徹底してください。

(6) 果実の生育について

表-2

調査地区		平均果実径 (mm)	
		R4.5	R3.5
豊岡	金剛寺	26.1	26.8
城崎	飯谷	23.1	23.6
竹野	濱須井	23.8	23.6
平均		24.3	24.7

果実の肥大は、昨年と同程度となっており、概ね順調に生育しています。

3 気象情報

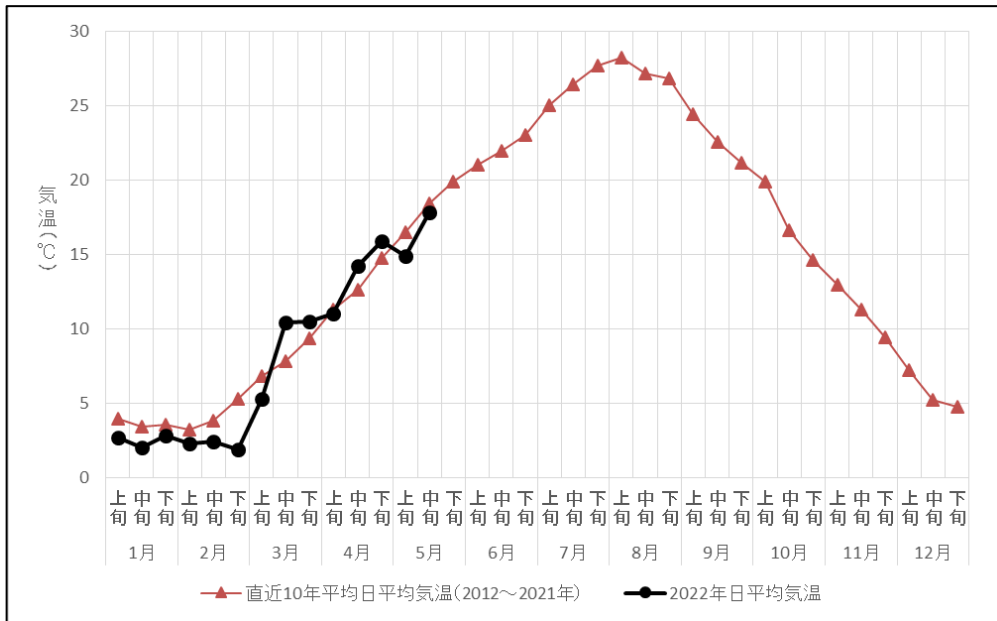


図-1 直近10年平均(2012~2021年)、2022年の日平均気温比較(豊岡)

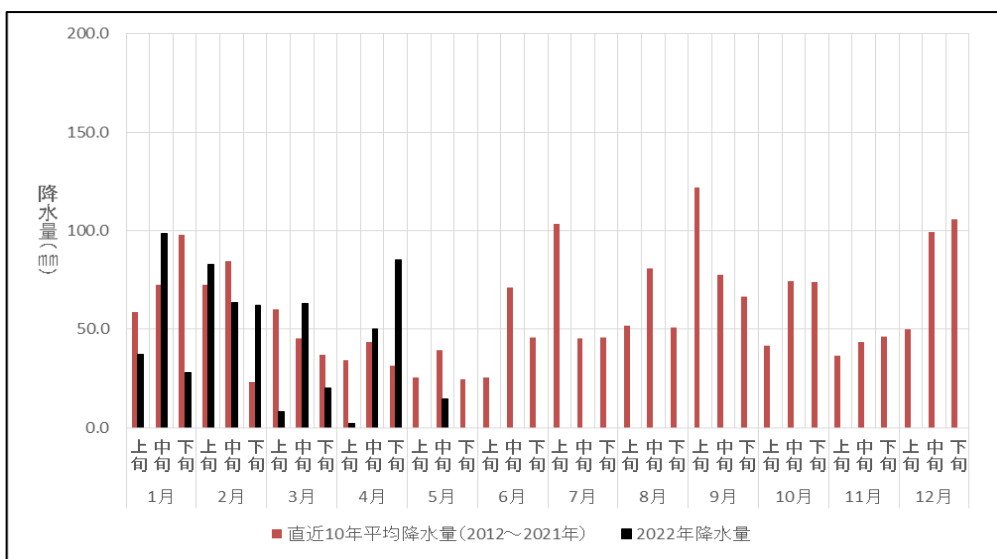


図-2 直近10年平均(2012~2021年)、2022年の降水量比較(豊岡)

～気象と生育について～

平均気温について、3月上旬までは低い旬が続きましたが、3月中旬から4月下旬にかけては概ね平年を上回る旬となりました。その後、5月上旬は平年より低くなりましたが、5月中旬は平年並みとなりました。

今年は冬の降雪や4月下旬の大雨等がありましたが、今のところ大きな被害はなく、順調に生育しています。

毎年、異常気象だと報道されます。気象情報に、注意してください。

☆薬剤、防除の詳しいお問合せ・ご相談は・・・

豊岡農業改良普及センター (TEL 26-3705)
JAたじま豊岡営農生活センター (TEL 24-3641)

☆共済事故(病害虫、気象上の被害等)の発生は・・・

NOSAI ひょうご 豊岡事務所 (TEL 42-4133)